

『もっと老上、ずっと老上～学ぶ楽しさ 人のあたたかさ 明日への希望 をみつける学校～』

2020年度 老上小学校だより No.12(8月20日号)

# 老 おいかけやま通信

①おきなめあてにむかって ②いどみ つづける子 ③か ながえ 深める子 ④み とめ つなげる子 (校長 山崎 賢)

(学校だより、学年通信・ほけんだより、行事予定、下校時刻などは老上小学校HPでもご覧になれます)

(レジリエンス【折れない心・復元力】を育むために)

## 勝つ構えより、負けない構え

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、感染防止対策を徹底した行動様式や人とのかかわり方だけでなく、夏休みが大幅に短縮されるなど私たちがこれまで経験したことのない事態が続いていますが、皆さんはこの夏休みをどのように過ごされたでしょうか。



8月19日から二学期が始まりましたが、感染の広がりはまだまだ気を抜けない状況です。このような中ですので、今後2学期の活動について計画通りに進めることが難しいことも出てくる可能性があります。学校としても、市や県などの連携しながら臨機応変に対応していくこととしていますので、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

さて先日ある新聞に、「大学の入試問題として引用された文章の作者本人が、出題された問題を解く」という特集記事(※1)が載っていました。そこで取り上げられていたのが、山極寿一氏のエッセー「負けない構えの美しさからゴリラを学ぶ」(出典:「學鑑」2015年春号/丸善出版)です。今年の老上小で大事にしているテーマ「レジリエンス」の視点から、このタイトルに強く興味を持ちました。「勝つ構えより負けない構えの美しさ」というところに、折れない心・復元力を育むヒントがあるように感じたのです。

山極氏は霊長類(とくにゴリラ)の研究で知られていますが、氏によると、ゴリラは周囲に仲間がいて第三者が仲裁に入れる状況の時によくけんかをし、けんかを始めると必ず誰かがけんかを止めに入ることが確認されているそうです。その姿から、「ゴリラが負けないために自己主張をする姿が美しいのは、自分だけの勝ち負けでなく、仲間の期待を一身に背負っているからだ。」と言います(※2)

私たちの子どもへのかかわり方はどうでしょうか。もちろん、子どもは周囲からの期待によって、才能を伸ばしたり、自信をつけたりしていくものです。しかし、その期待があまりにも強くなりすぎると、勝つことだけに固執しすぎることになりがちです。人よりも速いか遅いか、他よりも点数がよいか悪いかだけが子どもへの期待になると、相手を押しつけることや相手より優位に立つことが目的化してしまうことがあるので、注意が必要です。

また、だれでもそうですが、期待通りに能力が開花して成功するとは限りません。何かの理由で途中で挫折したり、運に見放されたりすることもあります。その時に、子どもがしなやかに回復していく力をつけていくのもまた、大人の重要な役割でもあります。山極氏は、「残念なことに、昨今の日本の社会は失敗を認めない風潮がある。周囲の過剰な期待が個人を追いつめ、夢を打ち砕くことがしばしばある。」と言います。(※3)

さらに、最近のSNSによる特定の人に対する誹謗中傷をみると、「負けない構え」ではなく、匿名性



を背景に徹底的に相手を貶めるというような状況があります。そして、自分が多くの人の思いを代弁してやったというぐらいの気負いさえ感じます。しかしそれが、個人を絶望に追いやったり、立ち直る気力を奪ったりすることを、私たちはどれだけ想像できているのでしょうか。私たちは、メディアで流されている

内容について、それが真実かどうかではなく、自分にとって都合がいいかどうかで信じる内容を決めてしまうことがあるということにはあまり気づいていないものです。

山極氏は、「相手に勝てば、その場限りの優越感を得られるかもしれませんが、相手を押しつけることは敵意を増幅させて孤独につながる。『負けたくない』という気持ちと『勝ちたい』という気持ちは似て非なるものだ」と言います。

自分とは異なる意見や都合の悪いものは排除したり、相手を徹底的にやり込めたりすることで自分こそが正義だと感じるこの先にあるのは、結局は孤独なのかもしれません。これからの社会をしなやかに、力強く生き抜くためにも、相手は自分とは違うということを前提に話をしたりかかわりあったりすることが大切です。そして、その中で勝敗をつけずにお互いが共存できる和解点を見つけようとする必要があります。それはとりも直さず、私たち大人が自分とは違う価値観の人とどのように接し、どのように共存しようとしているのかが問われているとも言えそうです。

二学期以降も、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をしながらの学校生活となります。感染者への心ない対応も問題視されている中、子どもたちと共に、コロナに勝つのではなくコロナに負けない過ごし方の中で、学びを進めていきたいと思えます。

※① 7月29日朝日新聞 「特別編 著者がとく 山極寿一さん」 ※② 「言葉」が暴走する時代の処世術 2019 山極寿一×太田光 集英社新書  
 ※③ ゴリラからの警告「人間社会、ここがおかしい」 2018 山極寿一 毎日新聞出版

## 9月～10月はじめの主な行事予定

日	月	火	水	木	金	土
		9/1	2	3 ショート学活 (防災について)	4 避難訓練	5
6	7 4, 5, 6年は 6校時まで授業	8	9 4年やまのこ 出前授業	10 じんけんの日	11	12
13	14 4, 5, 6年 6校時まで授業	15	16	17	18	19
20	21 敬老の日	22 秋分の日	23	24	24 給食終了後下校 (1～5年) 6年は5校時まで	26 運動会 (午前)
27 運動会 予備日	28 振替休業日	29	30	10/1	2	3
4	5 5年1組、4組 フローティン グスクール	6	7 5年2組、3組 フローティン グスクール	8	9	10

※現時点での予定です。やむを得ず中止や変更となる場合があります。ご了承ください。

※学年行事については学年だよりで詳細をお知らせします。